

浜坂温泉保養荘の利活用に関するサウンディング型市場調査の結果概要

1. 実施期間

令和7年8月25日（月曜日）～10月3日（金曜日）

2. 参加者数

2者（宿泊施設運営事業者）

3. 参加者の主な意見

◆利活用方針、運営方法等

周辺観光地より安価な料金帯の宿泊施設が望ましい

自然あふれる閑静な環境を活かし、高価格帯の宿泊施設として再生することが考えられる

建物や設備の老朽化が大きな課題。既存建物を活用する場合でも、大規模改修が不可欠

特に建物の資産価値が見込めないことから、できる限り安価な価格での譲渡が望ましい

土地については購入の方が借地より自由度が高い（定期借地は原状回復義務があるため不利）

◆その他意見

現行の収支を踏まえると、新たな運営開始後も一定期間の支援措置を期待
(売上向上に係る支援、経費削減にかかる支援)

地域ブランドが周辺観光地に比して弱いことから、施設面での魅力向上が欠かせない